

ゴール16：平和と公正をすべての人に

令和3年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



企業名	マコム・プランニング株式会社		
所在地	大阪市北区	資本金	1000万
設立	1970年	従業員数	80名
企業URL	Konokono.com toronco-academy.com		
事業内容	広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校

弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。
Win-Winな社会の在り方が必要に

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと思っています。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくと思っています。
4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



企業名	一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会			
所在地	奈良県奈良市	資本金	—	
設立	2021年12月	従業員数	1	
企業URL	https://lifeshift-suimin.com/			
事業内容	睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成			

SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・**同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。**
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 睡眠の質を高めて
- 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。
 - 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。
 - 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。
 - 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。
 - 目標 11：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。
 - 目標 16：人間関係が良好になり争いが減る。
 - 目標 17：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。